

## 令和3年度岩手県工業用水道事業会計決算概要

- 工業用水供給量は、基本使用水量、実使用水量ともに増加し、料金収入は、前年度比8.5%増の8億1千万円余となった。
- 経常収益は、料金収入が増となったことにより前年度比8.0%増の8億5千4百万円余となり、経常費用は、固定資産除却費や修繕費の増等により前年度比3.2%増の7億6千4百万円余となった。
- この結果、経常利益は、前年度比78.0%増の9千万円余となり、純利益は、前年度比47.1%増の8千8百万円余となった。

### 1 令和3年度損益

(税抜、単位：千円)

科目	年度 令和3年度 (A)	令和2年度 (B)	比較	
			増減額 (A-B)	増減率 (A-B) / B
経常収益	854,387	791,018	63,369	8.0%
経常費用	764,272	740,392	23,880	3.2%
<b>経常利益</b>	<b>90,115</b>	<b>50,626</b>	<b>39,489</b>	<b>78.0%</b>
特別利益	※1 16,021	※1 9,309	6,712	72.1%
特別損失	※2 17,991	0	17,991	皆増
<b>純利益</b>	<b>88,145</b>	<b>59,935</b>	<b>28,210</b>	<b>47.1%</b>

※1 退職給付引当金残高を取崩したことに伴い、特別利益(退職給付引当金戻入)を計上

※2 建設仮勘定及び建設準備勘定償却費に係る会計処理に伴う特別損失を計上

### 2 工業用水の供給状況

ユーザー企業の契約水量の増等により、基本使用水量、実使用水量ともに増となった。

(単位：千m<sup>3</sup>/年)

区分	年度 令和3年度 (A)	令和2年度 (B)	比較	
			増減量 (A-B)	増減率 (A-B) / B
基本使用水量	13,306	12,230	1,076	8.8%
実使用水量	8,858	7,316	1,542	21.1%
うち超過水量	185	55	130	236.4%

<1 m<sup>3</sup>当たりの給水単価> (平成23年4月1日から)

税抜

料金種別	工業用水料金の額	ろ過料金の額※
基本使用水量(基本料金)	42円	35円
使用水量(使用料金)	3円	3円
超過水量(超過料金)	90円	—

※ろ過水使用の場合は、工業用水料金に加算

### 3 経常収益の状況

基本使用水量及び実使用水量の増により料金収入が増(6千3百万円余)となったことなどにより、前年度比6千3百万円余(8.0%)増の8億5千4百万円余となった。

### 4 経常費用の状況

固定資産除却費や修繕費の増等により、前年度比2千3百万円余(3.2%)増の7億6千4百万円余となった。

### 5 経常利益、純利益の状況

以上の結果、経常利益は、前年度比3千9百万円余(78.0%)増の9千万円余となり、純利益は、前年度比2千8百万円余(47.1%)増の8千8百万円余となった。

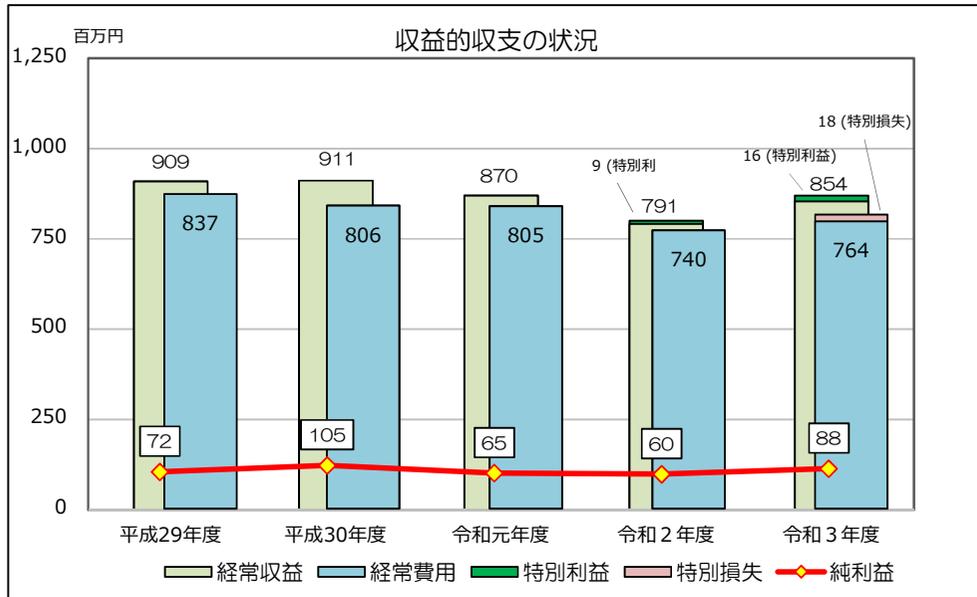
なお、経常利益の経営目標に対する実績は次のとおりとなった。

区分	経営目標	実績	増減	備考
経常収支比率	107%	111.8%	4.8ポイント	経営目標を達成

### 工業用水道事業会計収益的収支の状況の推移

(百万円、百万円未満は四捨五入)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
経常収益	909	911	870	791	854
経常費用	837	806	805	740	764
特別利益	0	0	0	9	16
特別損失	0	0	0	0	18
純利益	72	105	65	60	88



### 工業用水道使用状況の推移

(千m<sup>3</sup>/年、百万円)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
基本使用水量	14,298	14,182	13,244	12,230	13,306
実使用水量	6,926	7,235	7,293	7,316	8,858
うち超過水量*	35	41	43	55	185
工水料金収入	837	834	795	746	810
増減額:(当該年度-前年度)	3	△3	△39	△49	64
増減率:(当該年度-前年度)/前年度	0.4%	△0.4%	△4.6%	△6.1%	8.5%

\* 超過水量：契約量を超える使用量

